

としょだより No.4

2026 年 7 月 男山東中学校図書室 発行

●学校図書館より

①夏休み特別貸出期間について

返却日が夏休みと重なるため、**7月3日から8月20日**の間に借りられた本の返却期限は**9月1日（火）**までとなり、貸出冊数の上限も**3冊**になります。

②6・7月の図書委員会活動について

1 学期後半に図書委員会から実施している活動が3つあります。**1) 新刊の購入アンケート 2) オリジナルしおりの展示と配布 3) 放送によるおすすめ本紹介**。いずれも全力で取り組んでくれています。今後も学校図書館と図書委員会に注目してください！

●特集：夏は怪談。和洋のホラー本対決！

夏休みに読むのに相応しい日本と海外のホラー本を紹介します！

ネットで拾った怪文書の数々。それは人が知ってはならない暗黒。

・ダクダデイラ(餅屋 蛾 / KADOKAWA)

「変な」シリーズ第4弾。祖母の死と廃集落の事故を結ぶ因縁に迫る。

・変な地図(雨宮 / 双葉社)

映画も公開中。「口」が招き寄せた取り返しのつかない災いとは？

・口に関するアンケート(背筋 / ポプラ社)

不気味な影が少年を狙う。全ては悪霊の仕業か？それとも・・・。

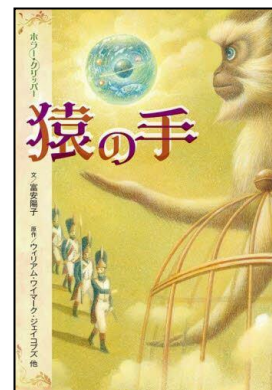
・ねじの回転(ヘンリー・ジェイムズ / 新潮社)

大好きな姉と暮らすメアリ。日々の平穏を守るため彼女は怪物になる。

・ずっとお城で暮らしてる(シャーリー・ジャクソン / 東京創元社)

3つの願いを叶えてくれるミイラの手。しかし、それは恐怖のきっかけだった。

・猿の手(ウィリアム・ワイマーク・ジェイコブズ他 / ポプラ社)



●読書感想文課題図書

全国学校図書館協議会が毎年選定している「**青少年読書感想文コンクール中学生の部**」の課題図書を今年も入荷しています。

◆読書感想文課題図書 中学生の部◆

- ・ 君の火がゆらめいている（落合 由佳 / 講談社）
- ・ チーム・テストならだいじょうぶ
（カービー・ラーソン&クイン・ワイアット / 鈴木出版）
- ・ リュウグウの砂に挑む チームで小惑星のサンプルを分析
（伊藤 元雄 / くもん出版）



●司書のつぶやき

揺れる世界情勢がどこまで影響しているのかは分かりませんが、ピスタチオ味のアイスを本当に見かけなくなりました。

一応、説明しておくとして司書はピスタチオにもピスタチオ味のアイスにも特に執着はありません。夏場買い置きが尽きると機嫌が悪くなるレベルで偏愛しているアイスはサ●レのレモンだけです。それでも、アイス売場のあるお店に行くたびにピスタチオ味を探してしまうのは、半年前に6歳の姪から受けた指令があるからです。

「ババちゃんがピスタチオのパ●コをおいしいって言ってたから、つぎもかっておいて」
本来なら「じゃあ、お前が買えや」で済ませる案件なのですが、自分ではなく祖母を喜ばせることが目的なのが憎い所です。純粋な子ども心にカツアゲされている状態が今です。

「そんなもん、うちの母親が自分のお金で買えばいいだけやろ」という問題ではあるけれども、そういう問題ではないのです。おかげで、今日もまた司書はコンビニでピスタチオのアイスを探します。これまで、クーラーボックスに置かれている抹茶味のアイスやメロン味のアイスをピスタチオ味と間違えてレジに運ぼうとしたことも一度や二度ではありません。特に間違えやすいのが、上から見た時の●ーリッシュのマスクメロン味でした。世の中にはこんなにも緑色のアイスがあるのに、ピスタチオだけが見つからない。もはや買い物ではなく、ウミガメのスープの問題でもさせられているような錯覚に陥る時もあります。多分、日本で一番、ピスタチオの食べる量と需要が一致していない人間が司書ではないでしょうか。

姪の親切心と食べ物が生んだ難題で言えば、もう一つ、奇妙な事件がありました。

先日、姪が仮眠中の祖母に残していった書置きです。司書は解読するのに一週間かかりました。暇つぶしにみなさんも挑戦してみてください。

（下はメモの中身です。改行のタイミングと誤字も現物に合わせています）

ばばちゃんへ

いまからかえりま

すおさつときおお

なからへんに

おいときま

す。

●新刊・オススメ本



・ 少女と毒（佐藤 まどか / 講談社）

所持金7万円。

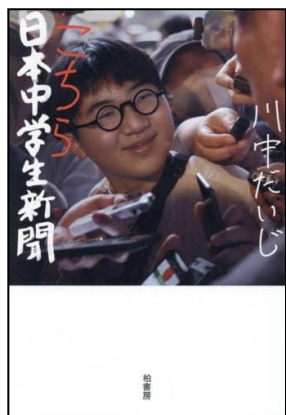
それが母を捨てるのに必要な最低金額だった。

中学2年生、1人で生きる計画を立てた少女は、母親からだまし取った7万円を手に長距離バスへ乗り込んだ。東京へ行けばきっと自分でも稼げる仕事がある。ネットカフェやファミレスに泊まればいいし、トー横では同じ境遇の仲間が見つかるはず。そうすれば、子育てを放棄したあの母とも他人になれる……。



・ ワンダーキッド・レオ 平凡なサッカー少年がイギリスの地で世界最高峰リーグに挑む話 1・2（T. Z. レイトン / カンゼン）

アメリカのオハイオ州の町で、地元少年サッカーチームのエースとして活躍していた12歳のレオ。強豪相手に2得点を決めた試合がスカウトの目に留まり、イングランドのプレミアリーグ「ロンドン・ドラゴンズ」下部組織への入団テストに招かれる。世界各地から集められた200人以上のサッカー少年の中で、合格者として残る割合は5パーセント未満。それでも、憧れの舞台に立つには自分を信じて挑むしかない！

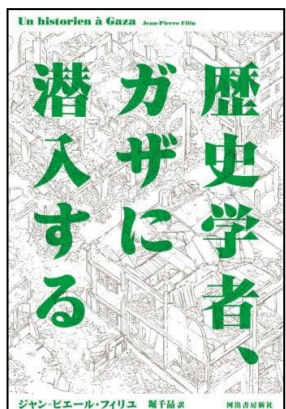


・ こちら日本中学生新聞（川中だいじ / 柏書房）

誰の日常にも政治がある。

中学生が民主主義の形を追い続けた3年間の記録。

小学3年生の時から政治に興味を持ち始めた川中だいじさんは中学1年になった2023年「日本中学生新聞」を創刊し、取材で各地を飛び回るようになる。広島サミット、万博、兵庫県の“あの”選挙も記事にして、さらには学校の生徒会活動では人に評価される側も務めた。民主主義って、大人だけのものじゃない。



・ 歴史学者、ガザに潜入する（ジャン＝ピエール・フィリュ / 河出書房新社）

イスラエルとパレスチナの間で続く領土問題は、数々のテロと民族浄化に発展し、ガザ地区では今も生活を脅かされる人々がいる。先進国でもごく一部しか報道されない真実を知るため、歴史学者のフィリュ氏は包囲中のガザへと向かった。

いつ再開するかも分からないドローン攻撃、協定違反であるはずの病院封鎖、人道支援隊への襲撃、生活用水さえ搾取される日々。権力者の指示ひとつで命が奪われる構造に終わりはあるのか？



多類婚姻譚

(風良 ゆう / 講談社)

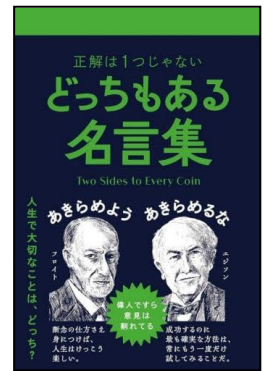
他人と生涯を共にすることがなぜ必要なのだろう？ 現代を生きる全ての人に捧げられた様々な愛の形、家族の形。



咲良は上手に説明したい!

(滝沢 志郎 / PHP 研究所)

企業の依頼で説明書を作る仕事「テクニカルライター」の見習いとなった咲良。言語化スキルに磨きをかけろ！

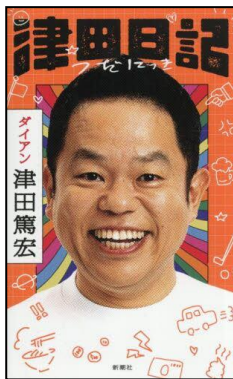


どっちもある名言集

正解は1つじゃない

(ペズル / ライツ社)

それぞれの道を極めた人達だから、言っていることが違うのも当たり前。あえて並べます。真逆の名言。



津田日記

(津田 篤宏 / 新潮社)

50歳になっても、漫才、テレビにYouTubeと大活躍の津田篤弘。怒涛の勢いで過ぎた2025年の全記録。

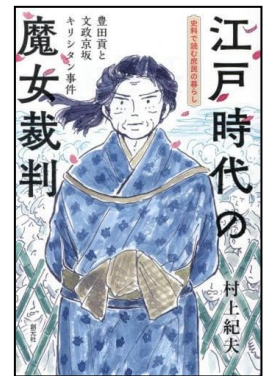


そなたを憎めばいいんだ

愛と殺意と七つの条件

(桜庭一樹&斜線堂有紀 / 河出書房新社)

2人の鬼才がそれぞれ7つのルールに従った短編を書き上げた！悪の世界に踏み入ってしまった少女達の運命。

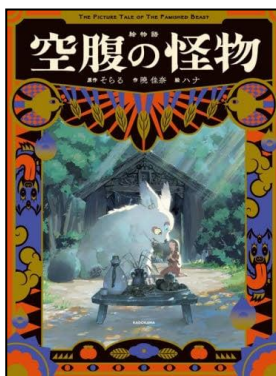


江戸時代の魔女裁判

豊田貢と文政京坂キリシタン事件

(村上 紀夫 / 創元社)

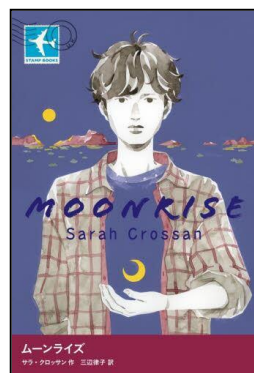
貧民街から這い上がり、陰陽師からキリシタンの教祖となった豊田貢。なぜ彼女は処刑されねばならなかったのか？



絵物語 空腹の怪物

(原作：そらる / KADOKAWA)

人気ソングライター・そらると『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』の作者が歌の世界を物語に。



ムーンライズ

(サラ・クロツサン / 岩波書店)

10年前、警官殺して逮捕された兄の死刑執行の日が決まった。罪を犯した家族をどうやって見送ればいいのか？



最後の魔法

(駄犬 / 新潮社)

科学のせいで魔法使いが廃業に追い込まれている現代。魔法使いを目指しながらも、やがて別々の道を選ぶ親友2人。